



# 文化財保護センターだより

## 財団法人 岐阜県文化財保護センター

<http://www.maibun.gifu-net.jp>

三田洞本部・整理所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1  
Tel.058-237-8550(代) Fax.058-237-8551  
e-mail.gifu@maibun.gifu-net.jp

飛騨出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張字峠1425-1  
Tel.0577-72-4784 Fax.0577-72-4690  
e-mail.hida@maibun.gifu-net.jp

平成14年  
3月1日

第33号

### もくじ

表紙	土の中から今語りかけるいにしへのロマン — 県内各地で現地説明会を開催 — …………… 1	調査	発掘最前線 2 塚奥山遺跡・寺平遺跡・重竹遺跡… 6-7
調査	発掘最前線 1 柿田遺跡・上恵土城跡・浦畑遺跡・ 岩井戸岩陰遺跡・藤田坂遺跡・丸石古窯跡群 … 2-3	センターだより	センター日誌・あとがき …………… 7
行事	発掘速報展—いにしへの美濃と飛騨— …………… 4-5	センターニュース	クローズアップ 柿田遺跡現場から「葎」・「網代」 トピックス 重竹遺跡現場から 親子発掘体験・公民館講座 …………… 8

# 土の中から今語りかける いにしへのロマン

— 県内各地で現地説明会を開催 —



しげなけ  
重竹遺跡  
(関市)



まるいしこやう  
丸石古窯跡群(土岐市)



いひいしうらかげ  
岩井戸岩陰遺跡(武芸川町)

土岐市の丸石古窯跡群では、12月2日(日)に現地説明会を開催しました。当日は、県内外から200名を超える参加者が集まりました。全国で初めて発見された陶製の四葉硯(四つ葉形をした硯)や、横並びになった四つの窯跡などを見学し、窯で汗を流した当時の人々に思いをはせていました。

今年度、センターでは9現場で現地公開・説明会を実施し、千数百名の参加者がありました。



# 追い込みにラストスパート！



当センターでは、本年度地元関係諸機関や多数の方々の御協力をいただき、県内10市町村13遺跡で発掘調査を実施しています。このうち、今回は7遺跡の概要について、発掘最前線1、2としてお知らせします。

## 柿田遺跡

### (可児市柿田)

この遺跡は、可児川沿いに東西に細長く伸びた平らな土地に広がる田園地帯にあります。

今年度の調査では、古墳時代から室町時代までの灌漑施設(堤防・堰・護岸施設)や水田などを発見し、多数の土器や木製品が出土しました。

見つかった中には、「蓆」と呼ばれる建具や、ヒノキを薄く割いて編まれた「網代」など、貴重なものがあります。(「蓆」・「網代」については8ページのクローズアップをお読みください。)

### ■ 古墳時代の高度な治水事業 灌漑施設発見

堰は、二つに分かれた川の流れを止め、一つの方向に流れるように造られています。大きさは、調査地点内では長さ約7.4m、幅約6.0mです。



堰の木組みと草敷

底には、直径10～15cmの丸太を縦と横に組み、その上に土砂を盛り、崩れないように斜めや縦に杭を打ち込み固定しています。さらに、草などを敷いて盛土を保護するように造られています。

### ■ 鎌倉時代後半に造られた長さ約60mの堤防



木杭の様子

長さ60mにわたる堤防跡

室町時代に数回、造り直された跡があります。大きさは、底の幅約4.8m、上の幅約1.5m、高さ70cmです。堤防の底には、直径10～20cmの丸太を枠に組み、その上に拳大の礫や土砂を盛り、細かい枝や杭などで固定しています。約60mの堤防内に、杭が約2,000本以上集中して打ち込んであり、水の流れて壊れないよう頑丈なつくりになっています。

## 上恵土城跡・浦畑遺跡

### (可児郡御嵩町)

これらの遺跡は、木曾川と可児川に挟まれた河岸段丘の上にあります。ここには上恵土城という戦国時代の城があったことがわかっていました。



遺跡の全景

今回の調査では、その城があったと思われる範囲の一部(上恵土城跡)と、そこから北に200m程離れた場所(浦畑遺跡)の2カ所を発掘しました。

### ■ 上恵土城跡 室町、江戸時代の遺構発見

城があった戦国時代の遺構は発見できませんでした。室町時代と江戸時代の遺構を発見しました。

室町時代の遺構では、水を溜めておく施設である溜井とそれにつながる溝を、江戸時代の遺構では、掘立柱建物跡2軒、井戸1基、溝などが見つかりました。井戸や溝からは多くの山茶碗や近世陶器が出土しました。



溜井と溝

### ■ 浦畑遺跡 風流人の屋敷跡？

室町時代の屋敷跡と考えられる掘立柱建物跡を6軒と塀跡を3基発見しました。そのうちの1軒には、竈施設跡がありました。「サバ」と呼ばれる石を加工し土台として利用されていました。そこから一段低く掘り窪んで、堅く締まった土間(作業場)もありました。また、茶道具の一つである「風炉」を見つけました。



竈施設跡

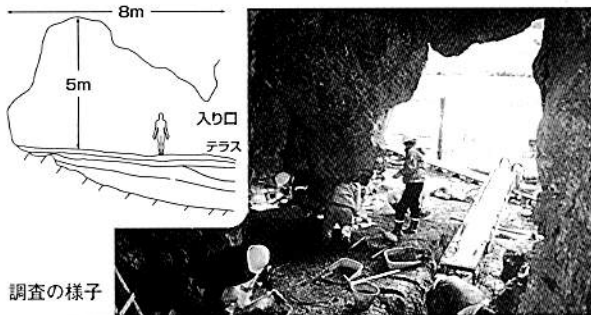
茶の湯をたしなむような身分の人の屋敷だったと想像できます。中世の焼き物である山茶碗や、古瀬戸の碗や皿、かわらけなども見つかりました。

(注1) 茶の湯で、釜の湯を沸かすための火鉢状の道具。

(注2) 素焼きの焼き物。

**いわいどいわかげいせき 岩井戸岩陰遺跡 (武儀郡武芸川町)**

この遺跡は、武儀川に面した山すそにあります。自然の岩陰(注1)を利用した遺跡です。岩陰の中や前の平らな部分(注2)から、多くの遺物が見つかりました。



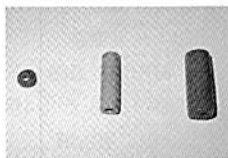
**■ 当時の姿をそのままとどめる内部**

岩陰の広さは、間口約3m、奥行き約8m、天井の高い所で約5mあります。間口に対して奥行きがあり、天井も高いのが特色です。内部は岩などの崩れも少なく、当時の姿をよく残しています。

**■ 長期にわたって利用～縄文から鎌倉時代まで～**

縄文時代から鎌倉時代にかけての遺物が、各時代の層ごとに順に見つかりました。

地表20cm下から古墳時代の丸玉や管玉や須恵器、平安時代の灰釉陶器や土師器、鎌倉時代の山茶碗を、40cm下から弥生土器を、60cm下から縄文土器や石器(狩に使う「石鏃」や漁に使う「石錘」)が見つかりました。縄文時代は狩や漁のキャンプ地として、平安から鎌倉時代にはまつりごとの場として利用したことがうかがえる貴重な遺跡となりました。



丸玉と管玉

**ふじたさかいせき 藤田坂遺跡 (可児市下恵土)**

この遺跡は、木曾川の河岸段丘上にあります。弥生時代の住居跡、掘立柱建物跡などを発見しました。

**■ 弥生時代の住居跡を発見**

弥生時代の住居跡を3軒発見しました。このうち1軒には、炉、柱穴、周壁溝といった住居跡に伴う施設がありました。



調査の様子

遺跡の全景

- (注1) 岩のかたまりが、水の力などでけずられたり、岩の出っ張りによってできた空間。
- (注2) テラスという。
- (注3) 石でつくった矢じり。矢の先につけて使う。
- (注4) 石でつくった網につけるおもり。
- (注5) 建物の壁の内側をめぐる溝。

**まるいしごようあんとくん 丸石古窯跡群 (土岐市泉町)**

この遺跡は、土岐の市街地を見おろす丘陵の南東斜面にあります。

遺跡の全景

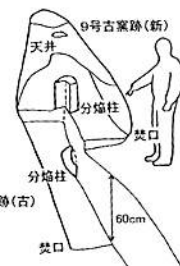


**■ 山茶碗窯が4基並んで**

鎌倉時代前半(800~900年前)の山茶碗を焼いた窑窯4基を発見しました。4基の古窯跡(8~11号古窯跡)が、横並びに密集した状態でありました。このうち9号古窯跡は、新しい時期と古い時期の窯跡が上下に重なっていました。一度焼くことをやめて廃棄された窯跡の上に、新しい窯を築いています。このような例は県内では初めてで、極めて珍しいといえます。また、天井が良好に残っており、トンネル状に造られた窯の様子がよくわかります。



残りのよい天井(9号窯)



り、トンネル状に造られた窯の様子がよくわかります。

**■ 作業場も見つかる**

轆轤の軸を受けるためにつくられた穴(轆轤ピット)や粘土を集めて置いておく場所(粘土溜まり)などが、8号古窯跡前の平らな場所で見つかり、8号古窯跡の周辺が、「作業場」とされていたことがわかりました。

**■ 全国初 幸せを招く?陶製の四つ葉のすずり**

4基の古窯跡からは大量の山茶碗、小皿が見つかりました。ほかにも、わずかですが多様な器種が焼かれていたことがわかりました。中でも、11号古窯跡から見つかった四つ葉の形をした硯「四葉硯」は、陶製では全国初の出土例になります。



四葉硯

- (注1) 山の斜面に縦に溝を掘り、天井をかぶせた窯(登窯)。



# いにしえの美濃と飛騨

平成13年11月17日(土)～12月16日(日)

場所：岐阜県博物館 特別展示室



開館を待つ展示遺物

今年度の「発掘速報展～いにしえの美濃と飛騨～」を11月17日から12月16日までの1ヶ月、岐阜県博物館において開催しました。今回は、平成11・12年度に発掘調査をした12の遺跡から、主な遺構と遺物を紹介しました。初冬の寒い時期にもかかわらず県内外から多数の方々に来場いただき、好評の内に閉幕しました。

各遺跡の場所



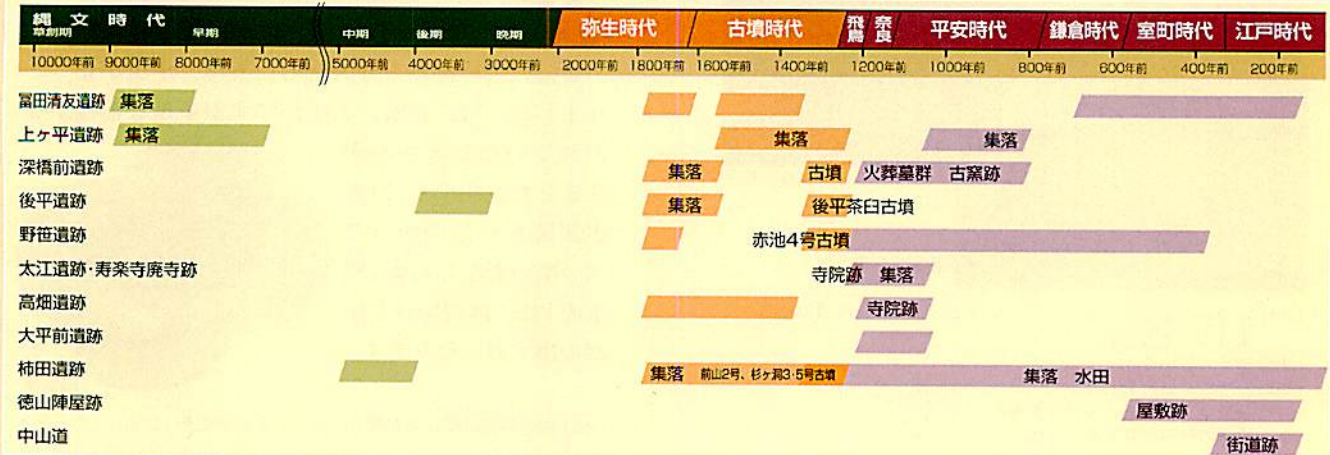
- ① 太江遺跡・寿楽寺廃寺跡
- ② 上ヶ平遺跡
- ③ 富田清友遺跡
- ④ 野笹遺跡・赤池4号古墳
- ⑤ 前山2号古墳
- ⑥ 柿田遺跡
- ⑦ 後平茶臼古墳他
- ⑧ 深橋前遺跡他
- ⑨ 大平前遺跡
- ⑩ 高畑遺跡
- ⑪ 中山道
- ⑫ 徳山陣屋跡

## 会場を埋め尽くす 600点の展示遺物

古代寺院の屋根を飾った鷗尾や軒丸瓦(古城郡古川町、寿楽寺廃寺跡)や古代の仏教行事である「仁王会」と書かれた木簡(可見市、柿田遺跡)、古墳の石室から見つかった華麗な玉類(可見市、前山2号古墳)など、往時の景観を思い描きながら熱心に見学される方が大勢いらっしゃいました。



熱心に説明を聴く見学者



各遺跡の種別と営まれた時代



5,000名近くの入場者で盛大に開催される!

11月25日 ハイビジョンホール

## 記念講演会

### 「水と人の歴史 — 弥生時代～中世の水利をめぐって —」

国際日本文化研究センター教授  
**宇野 隆夫氏**

11月25日(日)に記念講演会を開催しました。講師の宇野先生には、人と水との関わりを、全国の遺跡の事例やセンターが発掘調査をおこなった柿田遺跡や顔戸南遺跡、荒尾南遺跡などの成果をもとに、祭りや交易、治水・利水といった視点からわかりやすく御講演いただきました。



大勢の参加者を前に講演される宇野先生

体験を楽しむ親子



見学者でにぎわう展示会場

## 皆さんの声、声、声

### アンケートから

古代人の息づかいが伝わってきました。柿田遺跡の木簡が腐らず残っているのに驚きました。(68才・男性)

毎年楽しみにしております。水と人の歴史がわかったように思います。(60才・女性)

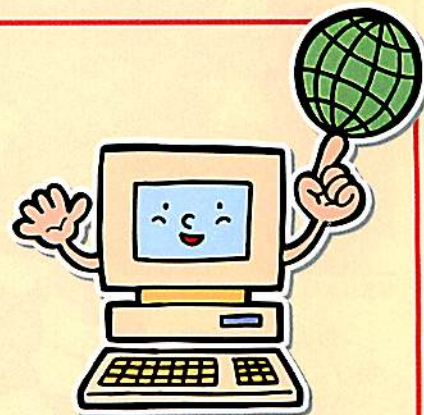
むかしは石でほうちょうをつくっていたよ。(10才・男性)

水、祀り、神社などのつながりや、統括する者の技術、動員力、中央と美濃の関連に興味深く拝聴しました。(47才・男性)

## ホームページも是非御覧ください!!

センターのホームページでは、発掘速報展や発掘調査中の現地説明会などのイベント情報や岐阜県各地の遺跡や出土遺物の紹介、考古学の世界をわかりやすく紹介した「埋文スペシャル」など、盛りだくさんの情報を紹介しています。是非御覧ください。また、御意見・御感想などもお待ちしております。

- URL <http://www.maibun.gifu-net.jp>
- e-mail 三田洞本部、整理所 [gifu@maibun.gifu-net.jp](mailto:gifu@maibun.gifu-net.jp)  
飛騨出張所 [hida@maibun.gifu-net.jp](mailto:hida@maibun.gifu-net.jp)





# 本年度調査終了間近！



## 塚奥山遺跡

(揖斐郡藤橋村)



遺跡の全景

この遺跡は、福井県境に近い揖斐川沿いの河岸段丘上にあります。今年度の調査は、台風の被害による中断を経て4年目となります。

### ■ 縄文時代の集落跡を確認

遺跡の中心部では、竪穴住居跡24軒が重なって見つかりました。出土した土器の多くは、約4,100年前(縄文時代中期末)のもので、住居に埋まった黒色の土を除くと、住んでいた頃の床(土間)が現れ、暮らしぶりがうかがえます。

### ■ 縄文人の生活の様子が目の前に

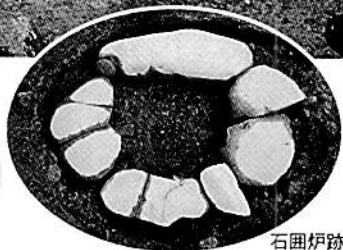
住居の出入り口とみられる所には、底に穴をあけた土器(埋甕)が埋められ、中心付近には周りをていねいに石で囲んだ炉が作られています。同じ間かくで並ぶ穴は、屋根などを支える柱の跡です。住居跡の内側では、木の実を貯えたとみられる深い穴や、お墓とみられる浅い穴が無数にあります。

これらの生活の跡は、4,000年の時を越え、縄文人の生活の様子を今に伝える貴重な資料といえます。



竪穴住居跡

石の内側に  
焼けた跡があった  
ので炉の跡と  
わかりました。



石囲炉跡

## 寺平遺跡

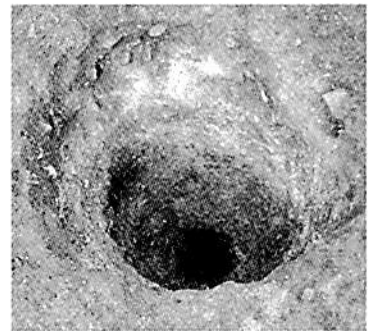
(揖斐郡藤橋村)

この遺跡は、揖斐川上流の左岸にある、丘陵先端の狭い平坦地にあります。すぐ下の河岸段丘上には、平成3年に発掘調査された長吉遺跡があります。

### ■ 縄文時代の活動

縄文時代の遺物は、今から約8,000年前(縄文時代早期)と約5,000年前(縄文時代中期)のものが見つかりました。住居跡のような遺構はありませんでしたが、動物を捕獲するための落とし穴や土器片が多く見つかった土坑(穴)がありました。

このことから、長い間この場所で生活していたわけではなく、食料を獲得するための活動を行っていた場所とされます。

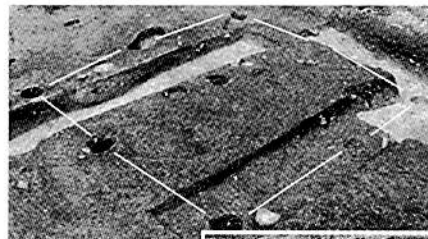


落とし穴

### ■ 平安時代のお堂が見つかる

寺平遺跡は、その名が示すようにお寺があったという言い伝えがあった場所です。今回の発掘調査では、約1,000年前(平安時代の中頃)の建物跡が2棟発見されました。

1棟は、掘立柱建物と言われる柱を地中に埋めた建物跡で、もう1棟は礎石建物と言われる、地面に固定した平たい石の上に柱を立てたものです。礎石建物は、後の時代の開墾によって石を抜き取られたり、地面を削られたりしたため、柱を立てた礎石は2つ、礎石を固定したと思われる穴は3つ確認できただけで、このような建物は、出土した遺物の中に日常生活に欠かせない煮炊きするための土器がなかったことから、一般的な住居とは考えにくく、やはり言い伝え



掘立柱建物跡

にあるように、お堂のような施設として建てられたのではないかと考えられます。



礎石建物跡

## しげたけいせき 重竹遺跡 (関市)

この遺跡は、長良川左岸の段丘上にあります。今回の調査では、奈良時代から江戸時代にかけての集落の様子がわかってきました。

### ■ 鍛冶関連遺構の発見

室町時代の集落の一角から鍛冶に関係すると考えられる遺構を確認しました。

これは1辺約4mの四角形に地面を掘りくぼめたもので、底面は固くしまり、壁の一部に高温で焼けた部分がありました。鉄のくずや羽口(火力を強めるための送风管)の先、炉の壁の破片がみつかることから鉄を作る作業を行っていたと考えられます。また遺構には様々な大きさの砥石が入れられており、刃物を製造していた可能性があります。遺物から、この作業が行われたのは鎌倉時代の終わりから室町時代にかけてと考えられます。

現在、関市は「刃物の町」として知られており、今回それに関係する遺構が見つかったことで、その歴史を知る上で大きな手がかりとなりそうです。



鍛冶関連遺構

### ■ 堀をもつ有力者の屋敷跡?

別の調査区から、室町時代の終わり頃の屋敷地を確認しました。その中の一つに幅約4m、深さ約2mの大きな堀をもつ屋敷跡があります。堀の長さは東西に70m以上あると推定されます。堀の内側には土塁や大きな柱でつくられた建物跡が見つかっており、当時の有力者の屋敷と考えられます。今回の調査事例のように中世の屋敷地の様子が広範囲で確認できる事例は県内には少なく、貴重な資料といえます。



深さ約2mの大きな堀

- 10月
- 11 八幡町立川合小学校 6年生34名 重竹遺跡発掘体験
  - 12 各務原市立中央中学校生徒15名 柿田遺跡発掘体験学習
  - 13 現地説明会(浦畑遺跡:200名)
  - 15 御嵩町兼山町学校組合立共和中学校 3年生40名上恵土城跡・浦畑遺跡見学
  - 18 名古屋大学教授渡辺誠氏 上岩野遺跡指導(～19)
  - 24 走る県政バス 本部施設見学(43名)  
美濃市立中有知小学校 6年生・保護者97名重竹遺跡発掘体験学習(～24)  
日本古学協会員田口昭二氏 丸石古窯跡群指導
  - 26 瀬戸市埋蔵文化財センター藤澤良祐氏 丸石古窯跡群遺物指導

- 11月
- 1 南山大学教授伊藤秋男氏 丸石古窯跡群指導
  - 5 瀬戸市埋蔵文化財センター所長榎崎彰一氏(名古屋大学名誉教授)丸石古窯跡群遺物指導
  - 6 三重大学名誉教授八賀晋氏 重竹・上西田遺跡指導  
飛騨子供相談センター所長下畑五夫氏 上岩野遺跡指導
  - 10 現地説明会(上岩野遺跡:140名)
  - 15 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所箱崎和久氏 柿田遺跡遺物指導
  - 17 発掘速報展「いにしへの美濃と飛騨」開幕(～12/16岐阜県博物館)
  - 19 京都文化博物館定森秀夫氏 飛騨出張所来所
  - 21 奈良大学教授泉拓良氏 塚山遺跡指導
  - 25 発掘速報展 記念講演会(国際日本文化研究センター教授宇野隆夫氏 岐阜県博物館)
  - 26 国際日本文化研究センター教授宇野隆夫氏 柿田遺跡指導
  - 28 南山大学教授伊藤秋男氏 柿田遺跡指導  
金沢美術工芸大学教授小島俊彰氏 上岩野遺跡来訪
  - 29 京都女子大学教授川本重雄氏 柿田遺跡来訪
  - 30 (財)かながわ考古学財団村上吉正氏他来所

- 12月
- 2 現地説明会(丸石古窯跡群:203名)
  - 3 瀬戸市埋蔵文化財センター所長榎崎彰一氏(名古屋大学名誉教授)他丸石古窯跡群来訪
  - 10 上越市史編纂室考古部会 3名来所  
廈門大学(中華人民共和国)教授荘景輝氏、愛知県陶磁資料館森達也氏、瀬戸市埋蔵文化財センター藤澤良祐氏他 丸石古窯跡群来訪
  - 11 福井県三方町縄文博物館小島秀彰氏来所
  - 13 岐阜県中世城館跡総合調査委員会調査員佐伯哲也氏 ウバガ平遺跡指導
  - 15 現地説明会(岩井戸岩陰遺跡:75名、重竹遺跡:175名)
  - 16 発掘速報展「いにしへの美濃と飛騨」開幕(4,893名)
  - 18 愛知学院大学教授白石浩之氏 岩井戸岩陰遺跡指導
  - 19 愛知県陶磁資料館井上喜久男氏他 丸石古窯跡群来訪
  - 20 (財)石川県埋蔵文化財センター金山哲哉氏他 飛騨出張所来所
  - 22 現地説明会(柿田遺跡:341名)  
関市下有知上切地区公民館講座90名 重竹遺跡見学

- 1月
- 15 武芸川町立寺尾小学校 5・6年生17名 岩井戸岩陰遺跡見学
  - 23 鹿児島県立埋蔵文化財センター湯之前尚氏他来所
  - 28 消防訓練
  - 29 岐阜市立東長良中学校 2年生 5名 本部整理所体験学習
  - 30 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所箱崎和久氏他柿田遺跡遺物指導(～31)

- 2月
- 4 御嵩町兼山町学校組合立共和中学校生徒31名 柿田遺跡見学
  - 5 岐阜市立長良中学校 2年生 1名 本部整理所職場体験学習

## あしがき

福井県丸岡町が募集した日本一短い手紙コンクール・第9回一筆啓上賞の入選作品が1月の終わりに発表されました。今回のテーマは「いのち」でした。新聞に掲載された作品の一つ一つに共感しながら読まれた方も多いことと思います。

文化財も「いのち」を考える素材がいっぱいです。古墳をはじめとする埋葬に関わる遺構や土偶などの遺物に直面するとおそろですが、人間の生と死に対する祈り・心といった当時の人々の精神世界に触れることができます。歴史的な遺産は、それぞれの時代を生きた人々の生き方や感性を今に伝え、私たちに感動と勇気を与えてくれます。

平成13年度もあつかわずかになりました。この1年間の当センター事業への御協力や御参加ありがとうございました。パンフレットの全面改訂や「年報」の創刊など新しい取り組みもあと一息です。来年度もより楽しくわかりやすい「きずな」を発行していきたいと考えています。

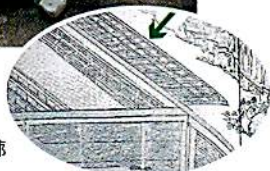


クロス  
アップ

## 注目の遺物 続々発見!

かきだ  
柿田遺跡現場から (可児市柿田)全国で初、溝から「部」<sup>しとみ</sup> (平安時代末～鎌倉時代初め)

部が見つかった様子



絵画資料で見る部

## ◎部はどんなもの?

部は格子を施した上下2枚1組の板で、上の戸は外にはね上げる釣り戸となっています。今回出土した物は上の戸にあたる部分で、絵巻物には残っていますが、発掘事例としては全国で初めてです。

## ◎どんなつくりになっているの?

材質はヒノキで高さは約0.4m、幅約1.5mで一部は腐ってなくなっていました。縦板と下枠などが鉄釘により固定されていて、横枠の外表面には、つり上げるための金具がかかる切り込みがあります。

## ◎どこでつかわれたのかな?

この部は名主層の屋敷などで使用された物と考えられます。きわめて精巧なつくりのため、建築史を語る上で大変貴重な資料であるといえます。

護岸施設から敷き詰めた「網代」<sup>あじろ</sup> (奈良時代)

## ◎ヒノキの色も鮮やか

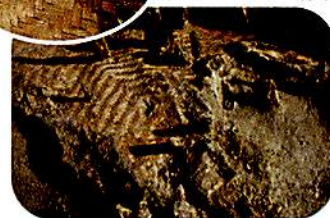
網代は幅約1.5cmのヒノキを薄く割いて縦・横方向に編んだ敷物です。長さ約3.5m、幅約2.5mの範囲内で4枚(最大のは長さ2.3m、幅2.2m)見つかりました。

## ◎堤防作りに網代を利用

奈良時代に川の淵に堤防が造られ、網代をその盛土の底に敷き、粘土を詰め、杭を打ち込んで、盛土が水に流されないように工夫されています。これは、今までにない新しい技術が導入されています。



網代の拡大写真

網代が見つ  
かった様子

トピックス

## 地元のみなさんとのふれあい盛ん!

しげたけ  
重竹遺跡現場から (関市下有知)

## 歓声と笑顔の親子発掘体験 (美濃市中有知小6年生)

## ◎ワーイ! 土器だ!

10月24・25日、約100名のみなさんが発掘に挑戦。発掘は初めてのようで、慣れない手つきが目立ちます。

「あった。」「見つけたよ。」遺物が見つかる度にあちらこちらから声がわき上がります。

## ◎お母さんしっかり!

調査員からの説明を真険な表情で聞き入る姿、お子さんよりも目を輝かせ、童心にもどって作業する保護者のみなさん...

## ◎家でも今日の思い出を話すよ!

遺跡の発掘を通して、親子共通の話題ができ、地域理解も深まり、大変意義深い体験となりました。

笑顔いっぱいの  
親子発掘体験一列に並んで  
発掘開始!土器の発見に  
沸きカエル

今から1,200年前の住居の中で...

## 熱心に公民館講座 (上切公民館)

## ◎夢はふくらむ考古のロマン

12月22日、上切公民館講座が行われました。

## ◎小学生から高齢者のみなさん90名の参加

ももとは水田であった場所を、数十センチ掘るとそこには、今から約1,200年前の住居跡が眠っていました。ほかにも、鉄の精錬遺構、本物の土器や石器の数々などをゆっくり見学していただきました。